



平成20年3月期

第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月25日

上場会社名 株式会社 青森銀行

上場取引所 東証第一部

コード番号 8342

URL <http://www.a-bank.jp/>

代表者 取締役頭取 加福 善貞

問合せ先責任者 取締役総合企画部長 内藤 敦

TEL (017) 777 - 1111

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	48,343	(8.9)	4,737	(32.9)	2,286	(42.6)
19年3月期第3四半期	44,389	(2.6)	7,070	(35.1)	3,989	(49.0)
19年3月期	60,800		9,112		4,798	

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	13	00		
19年3月期第3四半期	22	11		
19年3月期	26	77		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	2,187,772	91,903	4.0	492 69
19年3月期第3四半期	2,169,267	93,939	4.1	505 26
19年3月期	2,174,740	95,444	4.1	513 10

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
	第3四半期末
(基準日)	円 銭
20年3月期第3四半期	
19年3月期第3四半期	

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

平成19年11月12日に公表した平成20年3月期通期の業績予想を以下のとおり見直しております。詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	65,000	(6.9)	6,000	(34.1)	2,800	(41.6)	15	92

[参考]平成20年3月期の単体業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	50,000	(7.7)	5,800	(33.6)	2,800	(40.9)	15	92

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2)会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(3)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成19年4月1日～平成19年12月31日）の経営成績につきましては、以下の通りとなりました。

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金の増加により資金運用収益が増収となったことを主因として、前年同期比39億54百万円増加の483億43百万円となりました。

経常費用は、金利上昇に伴い預金利息等の資金調達費用が増加したことに加え、有価証券関係損失の増加等の影響により、前年同期比62億87百万円増加の436億6百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比23億33百万円減益の47億37百万円、四半期純利益は前年同期比17億3百万円減益の22億86百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における財政状態につきまして、総資産は前連結会計年度末比130億円増加し2兆1,877億円、純資産は前連結会計年度末比35億41百万円減少し919億3百万円となりました。

譲渡性預金を含めた総預金は、個人預金及び公金預金の増加により前連結会計年度末比244億円増加し1兆9,985億円となりました。

貸出金は、公共向け貸出の減少により、前連結会計年度末比35億円減少し1兆3,127億円となりました。

有価証券は、運用資産の効率化を図る一方で、市場動向を注視し適切な運用に努めました結果、前連結会計年度末比56億円増加し6,270億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の連結業績予想につきましては、株式・証券化市場の低迷による有価証券関係損失の増加の影響等により、平成19年11月12日に公表いたしました通期の業績予想を変更し、経常利益60億円（当初予想比15億円減）、当期純利益28億円（同10億円減）となる見通しであります。また、銀行単体の通期業績予想につきましても、経常利益58億円（同15億円減）、当期純利益28億円（同10億円減）となる見通しであります。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当ありません。

（2）会計処理の方法における簡便な方法の採用

当行は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。なお、四半期財務情報に関する計数は、監査法人による監査を受けておりません。

〔簡便な手続きの内容〕

1. 貸倒引当金の計上基準

当四半期末の貸倒引当金は、平成19年12月末の自己査定結果による債権残高を基準としておりますが、正常先・要注意先に係る一般貸倒引当金繰入率及び破綻懸念先に係る個別貸倒引当金繰入率については、平成19年9月期において適用した繰入率に基づき計上しております。

2. 法人税等の計上基準

当四半期の税金費用は、法定実効税率をベースとした年間予測税率を基に算出しており、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」の合計相当額を「税金費用」として四半期連結損益計算書に表示しております。

（3）最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（睡眠預金払戻損失引当金の計上基準）

従来、利益計上した睡眠預金の預金者への払戻損失は、支出時の費用として処理してはりましたが、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」（日本公認会計士協会監査・保証実務委員会報告第42号平成19年4月13日）が平成19年4月1日以後開始する連結会計年度から適用されることに伴い、当連結会計年度から同報告を適用し、過去の払戻実績に基づく将来の払戻損失見込額を睡眠預金払戻損失引当金として計上しております。これにより、従来の方法に比べ、その他経常費用は0百万円、特別損失は502百万円それぞれ増加し、経常利益は0百万円、税金等調整前四半期純利益は502百万円それぞれ減少しております。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年 3月期末)	比 較
	(A) 金 額	(B) 金 額	金額(B)-(A)	増 減 率	(C) 金 額	金額(B)-(C)
(資産の部)						
現金預け金	53,164	34,464	18,700	35.1	59,181	24,717
コールローン及び買入手形	63,097	102,025	38,928	61.6	80,000	22,025
買現先勘定	49,967	14,980	34,987	70.0	-	14,980
買入金銭債権	6,483	2	6,481	99.9	6,631	6,629
商品有価証券	599	856	257	42.9	467	389
金銭の信託	39	-	39	100.0	-	-
有価証券	610,119	627,054	16,935	2.7	621,440	5,614
貸出金	1,286,464	1,312,780	26,316	2.0	1,316,288	3,508
外国為替	977	1,197	220	22.5	1,658	461
その他資産	29,335	31,175	1,840	6.2	28,517	2,658
有形固定資産	45,118	44,561	557	1.2	44,820	259
無形固定資産	4,920	4,627	293	5.9	5,118	491
繰延税金資産	9,388	9,814	426	4.5	6,521	3,293
支払承諾見返	33,164	25,888	7,276	21.9	26,121	233
貸倒引当金	23,573	21,656	1,917	8.1	22,027	371
資産の部合計	2,169,267	2,187,772	18,505	0.8	2,174,740	13,032
(負債の部)						
預渡性預金	1,904,852	1,936,858	32,006	1.6	1,919,709	17,149
譲渡性預金	53,750	61,650	7,900	14.6	54,390	7,260
コールマネー及び売渡手形	10,719	6,392	4,327	40.3	10,270	3,878
債券貸借取引受入担保金	1,418	532	886	62.4	546	14
借入金	27,238	20,847	6,391	23.4	26,287	5,440
外国為替	18	21	3	16.6	27	6
社債	20,000	20,000	0	0.0	20,000	0
その他負債	20,394	18,897	1,497	7.3	17,697	1,200
賞与引当金	17	15	2	11.7	726	711
役員賞与引当金	22	40	18	81.8	-	40
退職給付引当金	860	760	100	11.6	43	717
役員退職慰労引当金	-	645	645	-	623	22
睡眠預金払戻損失引当金	-	502	502	-	-	502
再評価に係る繰延税金負債	2,870	2,815	55	1.9	2,852	37
支払承諾	33,164	25,888	7,276	21.9	26,121	233
負債の部合計	2,075,328	2,095,868	20,540	0.9	2,079,296	16,572
(純資産の部)						
資本金	15,221	15,221	0	0.0	15,221	0
資本剰余金	8,576	8,575	1	0.0	8,575	0
利益剰余金	55,788	55,511	277	0.4	54,227	1,284
自己株式	2,743	401	2,342	85.3	381	20
株主資本合計	76,842	78,906	2,064	2.6	77,641	1,265
その他有価証券評価差額金	9,579	5,407	4,172	43.5	10,198	4,791
繰延ヘッジ損益	24	31	55	229.1	0	31
土地再評価差額金	2,402	2,322	80	3.3	2,376	54
評価・換算差額等合計	12,007	7,699	4,308	35.8	12,575	4,876
少数株主持分	5,090	5,297	207	4.0	5,227	70
純資産の部合計	93,939	91,903	2,036	2.1	95,444	3,541
負債及び純資産の部合計	2,169,267	2,187,772	18,505	0.8	2,174,740	13,032

(注)記載金額は百万円未満、増減率は小数点第1位未満を切り捨てて表示しております。

(2)(要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期) (A)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期) (B)	増 減		(参 考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金額(B)-(A)	増 減 率	金 額
経 常 収 益	44,389	48,343	3,954	8.9	60,800
資 金 運 用 収 益	27,915	31,264	3,349	11.9	37,362
(うち貸出金利息)	(20,740)	(22,205)	(1,465)	(7.0)	(27,925)
(うち有価証券利息配当金)	(5,884)	(6,802)	(918)	(15.6)	(7,781)
役 務 取 引 等 収 益	4,387	4,288	99	2.2	5,885
そ の 他 業 務 収 益	194	313	119	61.3	268
そ の 他 経 常 収 益	11,891	12,477	586	4.9	17,284
経 常 費 用	37,319	43,606	6,287	16.8	51,687
資 金 調 達 費 用	3,328	6,472	3,144	94.4	4,804
(うち預金利息)	(1,101)	(3,534)	(2,433)	(220.9)	(1,869)
役 務 取 引 等 費 用	1,547	1,548	1	0.0	2,067
そ の 他 業 務 費 用	388	2,341	1,953	503.3	603
営 業 経 費	19,123	19,564	441	2.3	25,151
そ の 他 経 常 費 用	12,931	13,680	749	5.7	19,061
経 常 利 益	7,070	4,737	2,333	32.9	9,112
特 別 利 益	199	22	177	88.9	223
特 別 損 失	188	647	459	244.1	953
税金等調整前四半期(当期)純利益	7,080	4,111	2,969	41.9	8,382
法人税、住民税及び事業税	-	-	-	-	921
法人税等調整額	-	-	-	-	2,375
税金費用	2,926	1,742	1,184	40.4	-
少数株主利益	163	82	81	49.6	286
四半期(当期)純利益	3,989	2,286	1,703	42.6	4,798

(注)記載金額は百万円未満、増減率は小数点第1位未満を切り捨てて表示しております。

(3)(要約)四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期(平成19年3月期 第3四半期)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等				少数株 主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資 本合計	その他 有価証 券評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	土地 再評価 差額金	評価・換 算差額 等合計		
平成18年3月 31日残高	15,221	8,576	52,663	248	76,212	7,009	-	2,452	9,461	3,137	88,811
当 四 半 期 の 変 動 額											
剰余金の配当			883		883						883
役員賞与			31		31						31
四半期純利益			3,989		3,989						3,989
自己株式の 取 得				2,612	2,612						2,612
自己株式の 処 分		0		118	118						118
土地再評価 差額金の取崩			50		50						50
株主資本以 外の項目の 当四半期中の 変動額(純額)						2,570	24	50	2,545	1,952	4,498
当 四 半 期 の 変 動 額 合 計	-	0	3,124	2,494	630	2,570	24	50	2,545	1,952	5,128
平成18年12月 31日残高	15,221	8,576	55,788	2,743	76,842	9,579	24	2,402	12,007	5,090	93,939

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当四半期(平成20年3月期 第3四半期)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等				少数株 主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資 本合計	その他 有価証 券評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	土地 再評価 差額金	評価・換 算差額 等合計		
平成19年3月 31日残高	15,221	8,575	54,227	381	77,641	10,198	0	2,376	12,575	5,227	95,444
当 四 半 期 の 変 動 額											
剰余金の配当			1,054		1,054						1,054
四半期純利益			2,286		2,286						2,286
自己株式の 取 得				28	28						28
自己株式の 処 分			0	8	8						8
土地再評価 差額金の取崩			53		53						53
株主資本以 外の項目の 当四半期中の 変動額(純額)						4,790	31	53	4,876	70	4,805
当 四 半 期 の 変 動 額 合 計	-	-	1,284	19	1,265	4,790	31	53	4,876	70	3,540
平成19年12月 31日残高	15,221	8,575	55,511	401	78,906	5,407	31	2,322	7,699	5,297	91,903

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(参考)前期(平成19年3月期)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等				少数株 主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資 本合計	その他 有価証 券評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	土地 再評価 差額金	評価・換 算差額 等合計		
平成18年3月 31日残高	15,221	8,576	52,663	248	76,212	7,009	-	2,452	9,461	3,137	88,811
連結会計年度 中の変動額											
剰余金の配当			883		883						883
役員賞与			31		31						31
当期純利益			4,798		4,798						4,798
自己株式の 取得				2,538	2,538						2,538
自己株式の 処分		0		7	7						7
自己株式の 消却		1	2,396	2,397	0						0
土地再評価 差額金の取崩			76		76						76
株主資本以外 の項目の連結 会計年度中の 変動額(純額)						3,189	0	76	3,113	2,090	5,203
連結会計年度 中の変動額 合計	-	0	1,563	132	1,429	3,189	0	76	3,113	2,090	6,632
平成19年3月 31日残高	15,221	8,575	54,227	381	77,641	10,198	0	2,376	12,575	5,227	95,444

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(4)セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)

(単位:百万円)

	銀行業務	リース業務	その他	計	消去又は全社	連結
経常収益	33,812	5,934	5,682	45,429	(1,039)	44,389
経常費用	26,953	5,824	5,580	38,358	(1,039)	37,319
経常利益	6,859	109	101	7,070	(0)	7,070

当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)

(単位:百万円)

	銀行業務	リース業務	その他	計	消去又は全社	連結
経常収益	37,617	6,148	5,798	49,564	(1,220)	48,343
経常費用	33,047	6,140	5,637	44,826	(1,219)	43,606
経常利益	4,569	7	161	4,737	(0)	4,737

(参考)前期(平成19年3月期)

(単位:百万円)

	銀行業務	リース業務	その他	計	消去又は全社	連結
経常収益	46,635	7,983	7,583	62,202	(1,401)	60,800
経常費用	37,740	7,818	7,529	53,088	(1,400)	51,687
経常利益	8,894	165	53	9,113	(0)	9,112

(注) 1. 業務区分は、連結会社の事業内容により区分しております。なお、「その他」はクレジットカード業務等であります。

2. 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

2. 所在地別セグメント情報

当行は、在外支店及び在外子会社を有しておりませんので、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

3. 国際業務経常収益

国際業務経常収益は、連結経常収益の10%未満のため記載を省略しております。

平成20年3月期 第3四半期財務・業績説明資料

1. 損益の状況(単体)

第3四半期の経常収益は375億円(通期予想比75.0%)、またコア業務純益についても68億円(同78.5%)と、当初計画通りに推移しております。

株式・証券化市場の低迷による有価証券関係損失の増加の影響等により、通期の業績予想を変更し、経常利益は58億円(当初予想比15億円減)、当期純利益は28億円(同10億円減)となる見通しであります。

第3四半期の経常利益は45億円(修正予想比77.9%)、また四半期純利益は22億円(同80.8%)となっております。

(単位:百万円)

	平成19年度 第3四半期 (9ヵ月累計) (A)	平成18年度 第3四半期 (9ヵ月累計) (B)	前年 同四半期比 (A)-(B)	平成19年度 通期予想値 (12ヵ月累計)
経常収益	37,520	33,626	3,894	50,000
業務粗利益	25,396	27,023	1,627	
(除く国債等債券損益)(コア業務粗利益)	27,499	27,311	188	
資金利益	24,952	24,664	288	
役務取引等利益	2,470	2,550	80	
その他業務利益	2,027	191	1,836	
(うち国債等債券損益)	2,103	287	1,816	
経費(除く臨時処理分)	20,667	20,844	177	
人件費	9,459	9,565	106	
物件費	10,086	10,101	15	
税金	1,121	1,177	56	
コア業務純益	6,832	6,466	366	8,700
一般貸倒引当金繰入額	939	1,023	84	
業務純益	5,667	7,201	1,534	7,300
臨時損益	1,145	407	738	
うち株式等関係損益	1,042	43	999	
うち不良債権処理額	1,428	1,280	148	
(与信費用 +)	489	257	232	
経常利益	4,522	6,794	2,272	5,800
特別損益	644	103	541	
税引前四半期純利益	3,877	6,690	2,813	
税金費用	1,614	2,728	1,114	
四半期(当期)純利益	2,263	3,962	1,699	2,800

(注) コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

2. 金融再生法開示債権(単体)

金融再生法ベースの開示債権額は、19年9月末比16億円減少して708億円となりました。

	平成19年12月末		平成19年9月末
		平成19年9月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	115	10	125
危険債権	453	12	465
要管理債権	140	6	134
小計(A)	708	16	724
正常債権	12,925	217	12,708
合計(B)	13,633	201	13,432
開示債権比率(A)/(B)	5.19%	0.19%	5.38%

(注) 1. 記載金額は単位未満を四捨五入して表示しております。

2. 上記の平成19年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類し、当行の定める自己査定基準に基づいた同年12月末現在における債務者区分による残高であります。

また、上記計数は、部分直接償却相当額を直接減額した後の残高を記載しております。

債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・実質破綻先、破綻先の債権

危険債権・・・破綻懸念先の債権

要管理債権・・・要注先のうち、元本又は利息の支払いが3カ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権

3. 自己資本比率(国内基準)

平成20年3月末の連結自己資本比率は、劣後ローンの返済(50億円)による影響と通期決算の業績予想を踏まえ12.6%程度を予想しております。また、連結Tier比率は9.3%程度を予想しております。

	(参考)	
	平成20年3月末(予想値)	平成19年9月末(実績)
連結自己資本比率	12.6%程度	13.07%
連結Tier比率	9.3%程度	9.23%

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

4. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

その他有価証券の評価差額は、19年9月末比19億円減少して91億円の評価益となりました。

	平成19年12月末				平成19年9月末			
	時価	評価差額	うち		時価	評価差額	うち	
			益	損			益	損
その他有価証券	5,841	91	155	64	5,745	110	170	60
株式	453	106	120	14	505	138	150	11
債券	4,506	6	27	21	4,335	22	11	33
その他	880	21	7	28	905	6	9	16

（注）満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。また、子会社・関連会社株式で時価のあるものは該当ありません。

	平成19年12月末				平成19年9月末			
	帳簿価額	含み損益	うち		帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損			益	損
満期保有目的の債券	350	0	1	0	377	1	0	1

5. デリバティブ取引（単体）

(1) 金利関連取引

区分	種類	平成19年12月末			平成19年9月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所							
店頭	金利スワップ その他						

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(2) 通貨関連取引

区分	種類	平成19年12月末			平成19年9月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ 為替予約	1	0	0	1	0	0

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 株式関連取引
該当ありません。

(4) 債券関連取引
該当ありません。

(5) 商品関連取引
該当ありません。

(6) クレジットデリバティブ取引
該当ありません。

6. 預金、貸出金等の残高(単体)

預金等残高は、個人預金及び公金預金の増加により前年同月比377億円(+1.9%)増加し、2兆26億円となりました。また預り資産残高は、投資信託や公共債の増加により前年同月比326億円(+22.5%)増加し、1,773億円となりました。
貸出金残高は、個人ローンは減少となりましたが、公共向け及び一般法人向け貸出の増加により前年同月比273億円(+2.1%)増加し、1兆3,252億円となりました。

(1) 預金・貸出金の残高

	(単位:億円)		(参考) (単位:億円)	
	平成19年12月末	前年同月比	平成19年9月末	平成18年12月末
預金等(末残)	20,026	377	20,014	19,649
うち個人預金	14,016	251	13,692	13,765
貸出金(末残)	13,252	273	13,062	12,979
うち住宅ローン	2,915	6	2,892	2,921

(注) 預金等 = 預金 + 譲渡性預金

(2) 預り資産の残高

	(単位:億円)		(参考) (単位:億円)	
	平成19年12月末	前年同月比	平成19年9月末	平成18年12月末
投資信託	717	179	734	538
公共債	801	115	794	686
個人年金保険	255	33	250	222
合計	1,773	326	1,779	1,447

以上